

令和7年度第4回一関市スポーツ推進審議会 会議録

- 1 会議名 令和7年度第4回一関市スポーツ推進審議会
- 2 開催日時 令和8年1月28日（水）午後2時から午後3時30分まで
- 3 開催場所 一関市役所本庁議員全員協議会室
- 4 出席者
 - (1) 委員 伊藤成子委員、及川加奈子委員、小幡和夫委員、佐藤義行委員、
亀谷キイ子委員、菊池正人委員、佐々木賢治委員、
橋本ゆかり委員、須藤光子副会長、清田博美委員、平野和彦会長、
藤原洋委員、佐々木貴浩委員、阿部富美雄委員、千葉京子委員、
千葉美幸委員、沼倉恵子委員
 - ※欠席者 及川圭二委員、小野寺勝委員、渡邊和貴委員
 - (2) 事務局 平石剛まちづくり推進部次長兼スポーツ振興課長、
小野寺孝良スポーツ振興課長補佐兼スポーツ施設係長、
濱井大輔スポーツ振興課スポーツ交流係長、
阿部和恵スポーツ振興課主査、
菊地海人スポーツ振興課主任主事

5 議題

- (1) 第2期一関市スポーツ推進計画の最終案について
- (2) 第2期一関市スポーツ推進計画の策定について（答申）（案）について
- (3) その他

6 公開、非公開の別 公開

7 傍聴者の数 なし

8 平野和彦会長挨拶

皆さんこんにちは、お忙しい中、出席をいただきありがとうございます。

本日は、第4回目の審議会となりますが、第2期一関市スポーツ推進計画の案につきまして、長期にわたりご審議いただいたご意見等を修正して、最終の推進計画として、本日、佐藤市長に答申させていただくこととなりました。

委員の皆様方には、長期にわたりまして、ご審議いただきましたことに深く感謝を申し上げ、会長としての挨拶とさせていただきます。ありがとうございます

た。

9 協議内容

(1) 第2期一関市スポーツ推進計画の最終案について

最終案について、事務局から説明を行った。以下、質疑応答等。

委員 推進計画の6ページの本市のスポーツを取り巻く現状と課題の1-1の3行目のスポーツを行っている人の割合は24.7%となっているが、下から4行目には、日常的にスポーツをしている人が27.4%となっている。これは同じことを言っているのか。

事務局 下から4行目に掲載している日常的にスポーツをしている人というのは、上から3行目の数字とは別の設問である。

アンケート調査の全体については、資料編として掲載する。

(2) 第2期一関市スポーツ推進計画の策定について（答申）（案）について

答申案について、内容の確認を行い、表現の修正を行った。

10 答申

平野和彦会長から佐藤善仁市長へ、答申書の手交

11 佐藤善仁市長挨拶

ただいま会長から第2期一関市スポーツ推進計画の策定について答申を頂戴いたしました。

皆様には、5月から大変長い間ありがとうございました。

令和8年度から5か年の第2期となるスポーツ推進計画の策定について、答申を踏まえて、決定していくこととなります。

なぜ一関市は、スポーツを推進するのか、そのための手引きとなる推進計画を作るのかというと、スポーツの持つ力だと思っています。個人においても社会にとってもスポーツというものが必要であり、個人も社会もよくしていくためには、必要十分条件だと思っています。

具体的には、一関市が直面している課題というのは人口減少であります。この人口減少というのは、60年も前から始まっていたのですが、その減り方が、日本全体の少子化とずっと続いていた人口流出と相まって、ここ数年厳しくなっており、これから先も同じようなペースで減っていきます。人口が減っても一関市の面積が減るわけではありませんし、その中でまちの活力といったものを維持

していくときに、個人にとっても社会にとってもスポーツの持っている力は大きいものとなります。

一関市には高校が8つあります。高校を卒業すると7割の方が進学し残りの方々が就職をするのですが、その半分くらいは市外に就職します。一関から進学や就職で出て行った若い方たちが、結婚や子育てなど様々なことを機に、一関に戻ってくる環境があればいいと思っているのですが、その際にスポーツというのは、大きいのではないかと考えています。小学校の頃から、あるいは中学校・高校でやってきたスポーツがあって、それを大学や社会人で続けて、結婚して子育てをしながら、あるいはシニアになって指導をするというようなものが、自分の中でやっていけるものがあるかないかで、暮らしていく中では大きいのであろうなと思っています。

個人の単位でいいますと、自分が普段から関わるスポーツがあるかないかで、その人の人生が豊かになるのだろうなと思います。今日頂戴しました答申のなかでもスポーツを「する」ということにつながるのかと思います。

一方で「みる」や「つながる」については、最近の例で申し上げますと、大相撲の1月場所で優勝しました安青錦関、東山で2年続けて合宿しています。パブリックビューイングをしました。優勝の瞬間はものすごく盛り上がりました。同じく東山出身の岩淵麗楽選手のパブリックビューイングを予定しておりまして、自分自身ではなくてもこういったつながりをもって、地域ですとか年代を越えてつながりますし、一人一人が社会の一員として、家から一歩出て、仲間たちと何かをすると、それはご自身の趣味の中ですることと同列でありまして、スポーツの持っている力というのは、もっと訴求力があるといいますか、大きなパワーがあります。

「みる」であれ「する」であれ「つながる」であれ、これから先、スポーツに親しむことができる環境づくり、市民誰もがスポーツをより身近なものと感じていくといった要素は、これからの地域づくり・まちづくりに大きいなと思っています。

おかげさまで答申を頂戴いたしましたので、あとは策定・決定となりますが、感じたことは、4月からこれに基づいて着実に計画を進めていくことをございまして、例えばハード的な整備をしなければならないし、ソフト的な面でも盛り上

げていかなければなりませんので、全てにわたって、皆様方の声にお応えできるかわかりませんが、全力で取り組んでいかなければならないと思いました。

皆様方には感謝申し上げまして、御礼の挨拶といたします。

12 担当課 まちづくり推進部スポーツ振興課